

生誕 130 年 宮沢賢治は 「風」の人である

日本大学芸術学部教授であり文芸研究家のソコロワ山下聖美氏が、
宮沢賢治の遺した童話や詩を「風」という視点から読み解いた一冊。

風の道しるべ

宮沢賢治と現代



第一章 風といのち—変化こそが生きていること
第二章 風とことば—つながることで生まれるもの
第三章 風のおい—感性を解き放つ
第四章 うちなる風と銀河—飛翔する視点をもつ
対談 ソコロワ山下聖美 × 杉井ギサブロー (アニメーション映画監督)

2026 年 7 月下旬発売予定

ソコロワ山下聖美 著

判型 四六判 並製 174 ページ

定価 1,650 円 (本体 1,500 円 + 税)

ISBN 978-4-8062-0849-5

著者／ソコロワ山下聖美

1972 年生まれ。

文芸研究家、日本大学芸術学部教授。

元日本大学副学長。日本大学初の女性副学長として
林真理子元日本大学理事長とともに、大学改革を行う。

宮沢賢治、女性作家らの研究をすすめながら、
NHK『100分de名著』の指南役として「宮沢賢治スペシャル」と
「有吉佐和子スペシャル」を担当し、広くお茶の間に文学の魅力を伝えている。



東京新聞の本
TOKYO SHIMBUN BOOKS

中日新聞社 出版部

名古屋市中区三の丸 1-6-1

TEL/052-221-1714

(平日 10 ~ 18 時)